

「干潟の生きもの観察会」を実施しました！

2019年7月31日（水）午前11時から12時30分にかけて、西尾市一色町生田真野新田の一色干潟において、「干潟の生きもの観察会」を実施しました。

当日は快晴で、34名の参加者の方々に来て頂きました。夏休みということもあり、小学生等の親子連れの方々が多くみられました。西三河南部生態系ネットワーク協議会からは8名のスタッフが参加するとともに、今回は愛知県水産試験場より、矢澤主任研究員、宮脇主任研究員のお二人に講師として参加頂きました。

片山会長の挨拶により始まった観察会では、まず講師の方々から干潟の生きものに関する説明がされた後、干潟の方に移動して、各々が熊手や網等を使って生きもの採取を行いました。小さなお子さん達も、ハマグリやサルボウガイ、ガザミ、ヒトデ、マテガイ等、様々な生きものを採取して、楽しそうに参加していました。

干潟での採取活動後は、再び講師の方々から採取した生きものに関するお話を伺いました。今回は、講師の方々が県内のアサリを使ったビーカーでの水質浄化実験も行い、子供たちも目を輝かせながら楽しみながら理解を深めていた模様でした。

猛暑の中での開催でしたが、参加者・事務局全員が熱中症対策に留意して観察会を行った結果、一人の体調不良者も出すことなく、無事に観察会を終えることができました。参加者の方からのお声や、アンケート結果から、参加された皆様に、海の生きものや環境、生物多様性の大切さについて、伝えることができたと考えています。



干潟での観察会の様子



海の生きものの説明に聞き入る参加者（講師：愛知県水産試験場）